

文化庁選定
歴史の道百選
No.43

歴

史

の

道

探

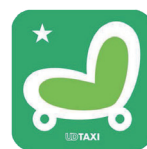
訪

タクシーで巡る東海道

小夜の中山道・金谷坂・大井川川越遺跡



株式会社 金谷タクシー
〒428-0026 静岡県島田市金谷本町 2017-9
TEL:0547-45-2151 URL:<http://kanaya-taxi.co.jp/>



文化庁選定 歴史の道百選 とは

古くから人、物、情報の交流の舞台となってきた道や水路等は、我が国の文化や歴史を理解する上で極めて重要な意味を持っています。これらの歴史的・文化的に重要な由緒を有する古道・交通関係遺跡を「歴史の道」として、その保存と活用を広く国民に呼び掛け、顕彰するために、平成8年に全国各地の最もすぐれた「歴史の道」78か所を「歴史の道百選」として選定しました。（令和2年現在114件 文化庁HPより）

No.43 東海道

さよのなかやまみち かなやざか おおいがわかわごしいせき 小夜の中山道・金谷坂・大井川川越遺跡

選定箇所：小夜の中山道（静岡県掛川市）、金谷坂、大井川川越道（島田市）

概要：東海道の遠江から駿河にかけては地形の変化に富み、小夜の中山道は遠江東部の峠越えの難所として知られ、古代より歌枕として古今集や西行法師の歌に詠み込まれている。また、建武2年（1335）の中先代の乱をはじめ合戦の舞台にもなった。金谷坂は牧之原台地から東に下る急坂であり、江戸時代末期に石畳が造成されている。大井川の川越しは、江戸時代に整備された東海道において、人足の肩車や連台に乗って渡る制度が整えられた特徴をもつ。東岸側には街道沿いに連なる川会所などの施設跡が残り、街道を含めて国史跡「島田宿大井川川越遺跡」として指定されている。

順路・運賃

◇4時間コース

JR金谷駅～事任八幡宮～日坂宿～小夜の中山道～小夜の中山夜泣き石～諏訪原城跡～金谷坂～大井川川越遺跡～蓬莱橋～JR島田駅

普通車(乗車定員4名まで) 26,000円 (23,400円) ジャンボ(乗車定員9名まで) 38,800円 (34,920円)

◇3時間コース

JR金谷駅～諏訪原城跡～金谷坂～大井川川越遺跡～蓬莱橋～JR島田駅

普通車(乗車定員4名まで) 19,500円 (17,550円) ジャンボ(乗車定員9名まで) 29,100円 (26,190円)

※（ ）内は障がい者割引・高齢者運転免許返納割引

駿河・遠江 境目の景色



事任八幡宮

「枕草子」に名前が記され「思いのままに願い事が叶う」パワースポットとして信仰される。坂上田村麻呂が植樹したと伝えられているご神木の杉とくすの木は、市の天然記念物。



諏訪原城跡

天正元年、武田勝頼が命じて築城。城内に諏訪大明神を祀ったことから諏訪原城と名が付き、駿遠国境に位置し徳川・武田が国盗りの拠点とした城。2019年3月にビジターセンター開設。



日坂宿

東海道25番目の宿場。江戸時代の面影を残る建物が有り、町並みには今も屋号が掲げられている。



金谷坂

江戸時代、金谷坂は急坂なうえ粘土層が露出しており、雨が降ると大名行列や旅人は大変苦労したことから、江戸時代末期に約720mの石畳が造成された。坂の中腹「すべらず地藏尊」は、合格祈願で人気。



小夜の中山道

箱根・鈴鹿と並んで、東海道の峠の三大難所に数えられる。西行法師が、69歳で峠越えした時に詠んだ「年たけてまた越ゆべしとおもひきや命なりけり さやの中山」が知られる。



大井川川越遺跡

越すに越されぬ大井川は、人足によって肩車や連台で川越ししたが、その料金所（川会所）や人足待合所（番宿）が復元された歴史道。



小夜の中山夜泣き石

遠州七不思議の「夜泣き石」として250年以上前から地域に伝わる。仇討ち話の名刀は「小夜左文字」とも言われる。傍らの茶店では「子育て飴」が販売されている。



蓬莱橋

江戸時代が終わり大井川に架けられた木造の農業用歩道橋。全長が897.4mは世界最長でギネス社に認定。ヤクナシや長いキの橋としてご利益スポット。897.4茶屋では島田の逸品を販売。